



海南省兵庫友好庭園の設計及び監理

要約

兵庫県は中国海南省との文化交流の拠点として両県省の一層の友好交流を促進する目的に、「兵庫友好庭園」を建設するプロジェクトを立ち上げた。本頁は当庭園の計画・設計・施工監理等一連ことを担当する設計者として、プロジェクトの全体像を記述したものとなる。当庭園は海南省の中心都市である海口市に建設され、2005年11月21日に開園を迎えた。

研究者

沈悦

■経緯

兵庫県は「兵庫県・海南省友好提携10周年に際しての覚書書」に基づき、海南省「国際友好村」を訪れる人々に、兵庫の庭園文化の紹介を通じて兵庫県の魅力を発信するとともに、今後とも変わらぬ友好の証、文化交流の拠点として両県省の一層の友好交流を促進する目的に、「兵庫友好庭園」を建設するプロジェクトを立ち上げた。「兵庫友好庭園」は海南省の中心都市である海口市に建設され、2005年11月21日に開園を迎えた。

■作品概要

庭園は海口市の西海岸带状公園の中に位置し、海、砂浜に隣接している。設計コンセプトとして、海景を取り込み、「兵庫の自然」と「海南の自然」の魅力をもつ敷地の中で巧みに再現することである。具体的な展開手法としては、「兵庫百景」の中から滝の景、緑の景の2つの景観要素を抽出し、入口部と中心部の築山のエリアに縮景手法で「兵庫の自然」を枯滝、山小道、石樋い、生垣等要素の配置工夫によって再現した。また、海への借景や海辺空間などを生かし、海が眺望できる且つ地形の起伏を富んだ樹林地空間を「海南の自然」として造景に取り組んだ。庭の中心部には海岸にある砂、地元産の火山砂利など素材でつくる枯池を配置し、日本造園の手法で「兵庫と海南の交流」を象徴した枯山水を形成させ、庭園景観の主題をこのエリアに当たった。庭園は回遊式で、庭

園は入口から中心部にかけて、真、行、草のような景観演出リズムが工夫され、日本庭園のシーケンス景観の表現ができたことと認識できる。

■反響

開園以来、多くの市民と海外来訪者を迎えた。中国の「海南テレビ」「海口テレビ」「海南新聞」日本の「読売新聞」などが多くのマスコミに報道された。



図-1 海南省HPで公開した友好庭園鳥瞰図（沈作成）

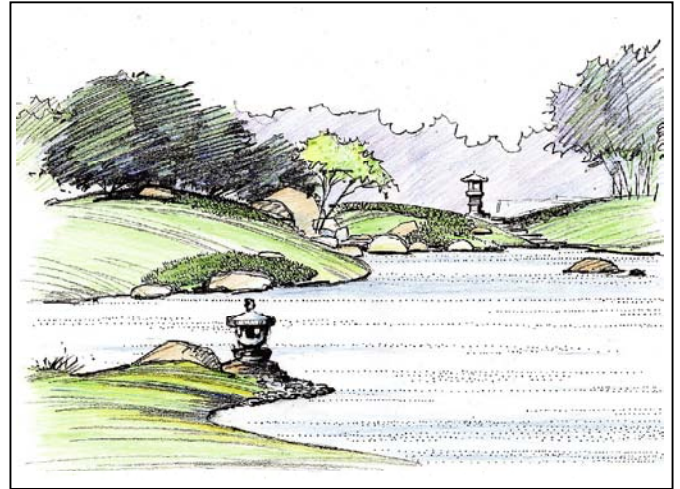


図-5 海南省政府に贈呈した庭園図絵（沈作成）



図-2 庭園の入口部（石碑に井戸知事が題字）



図-6 読売新聞 H17年12月17日記事



図-3 庭園中心部の枯山水景観



図-4 庭園のディテール（蹲器, 岬灯籠）